

岩見沢市生活交通ビジョン構想（案）策定資料

～岩見沢市の都市・交通情勢～



◆ 【委託者】 岩見沢市 企画財政部 企画室

【受託者】 日本データサービス株式会社

1. 岩見沢市の地域の現状

■岩見沢市の人口	・・・	1
■岩見沢市の現状及び課題	・・・	3
■岩見沢市の人口分布	・・・	4

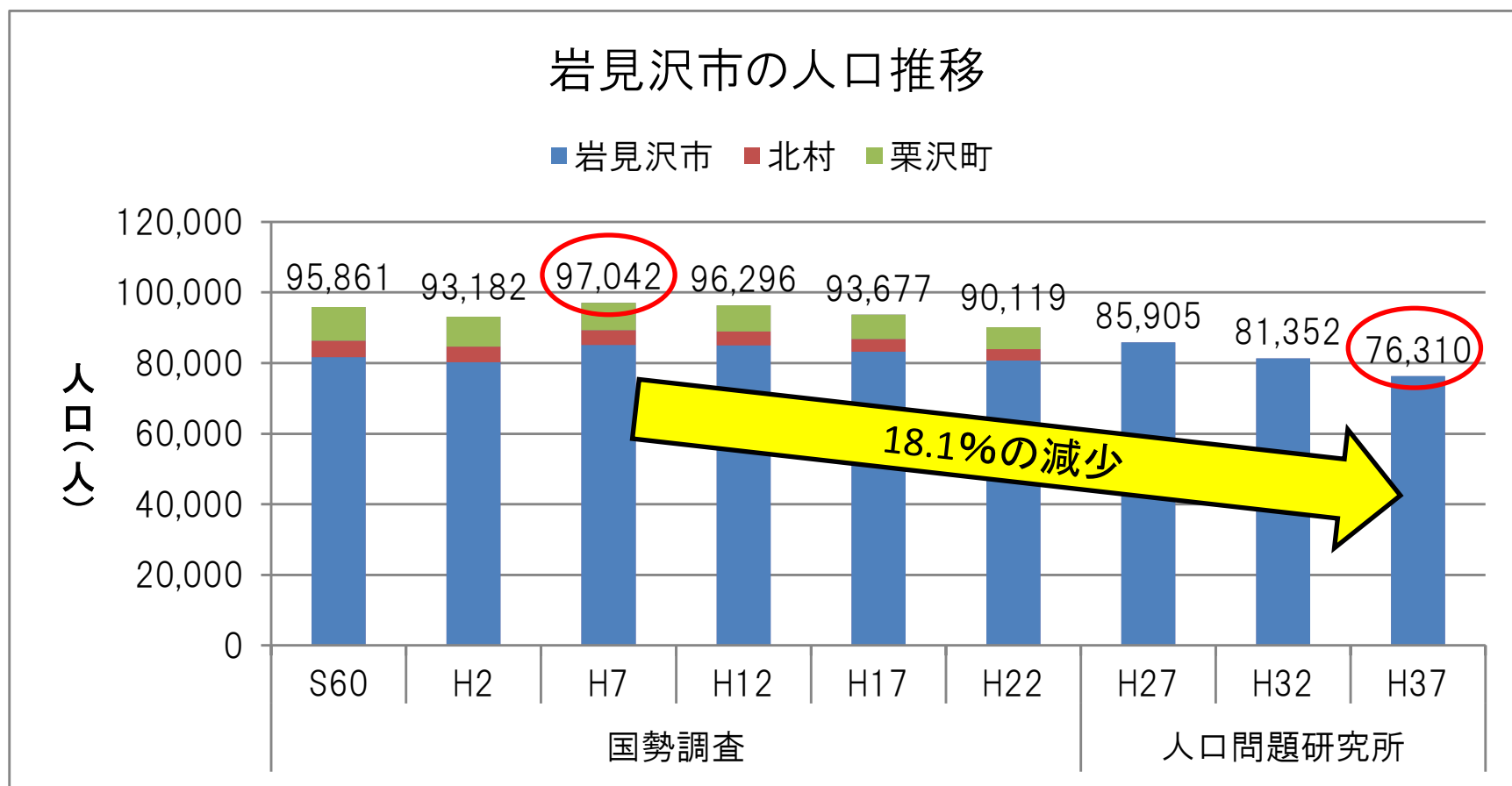
2. 岩見沢市のバス交通の現状

■岩見沢市のバス路線	・・・	9
■各路線の現状・課題	・・・	10
■岩見沢市のバス交通に係る市負担額及び利用者の推移	・・・	12

1-1 岩見沢市の人口

▼人口減少の進行

- 岩見沢市の人口は、平成7年にピークである約9.7万人まで増加したが、その後は減少に転じており、平成22年で約0.7万人減少の約9.0万人となっている。(97,042人(H7)⇒90,119人(H22))
- 将来的にも人口減少**が予測されており、90,119人(H22)⇒76,310人(H37) (18.1%の減少)。



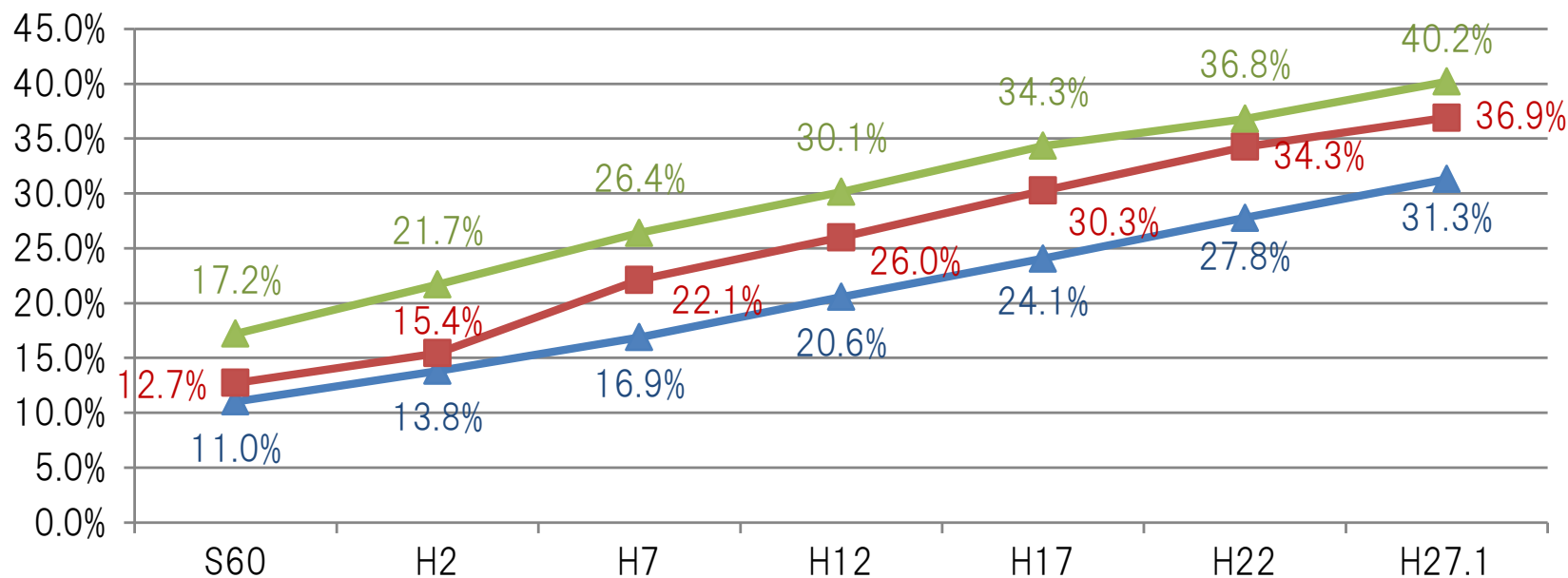
1-1 岩見沢市の人口

▼高齢化の進行

- ・ 岩見沢市における高齢者人口割合（65歳以上人口の割合）は、昭和60年以降、**増加の一途を辿っている**。（昭和60年：11.0% → 平成27年1月：31.3%）
- ・ 特に平成18年に岩見沢市と合併した**北村地区と栗沢地区の高齢者人口割合は平成17年以降共に30%を超えており、住民の約3人に1人は高齢者**となっている。

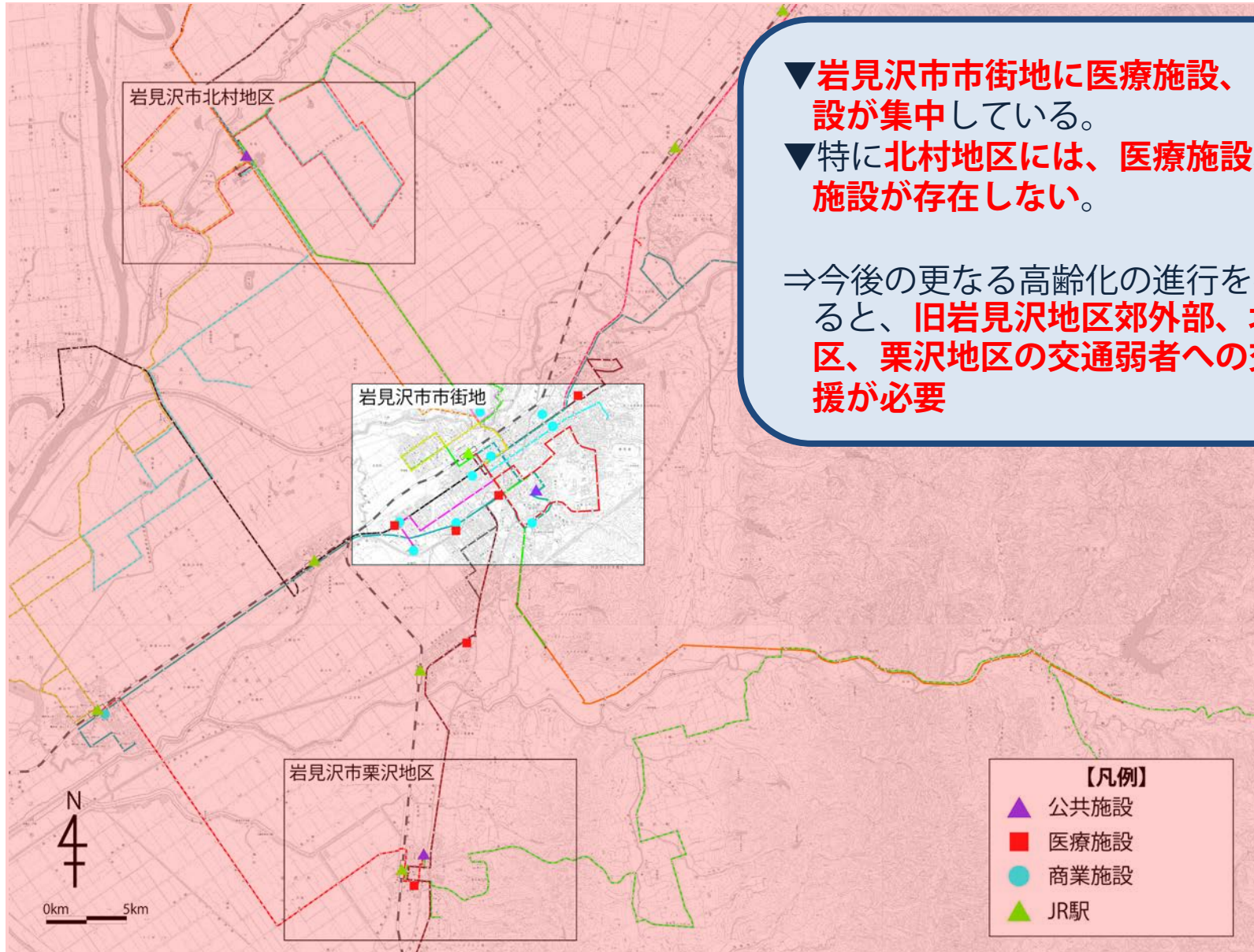
岩見沢市内の65歳以上人口割合推移

▲ 岩見沢市全体 ■ 北村地区 ▲ 栗沢地区



資料：S60～H22：国勢調査、H27.1：住民基本台帳

1-2 岩見沢市の現状及び課題



- ▼ 岩見沢市市街地に医療施設、商業施設が集中している。
- ▼ 特に北村地区には、医療施設、商業施設が存在しない。

⇒ 今後の更なる高齢化の進行を考慮すると、**旧岩見沢地区郊外部、北村地区、栗沢地区の交通弱者への交通支援が必要**

1-3 岩見沢市の人口分布

- ・ 岩見沢市の人口は、岩見沢全域に広く分布しており、**特に市街地、幌向地区が多い。**
- ・ 北村地区、栗沢地区では、支所が存在する地域で人口が多くなっている。

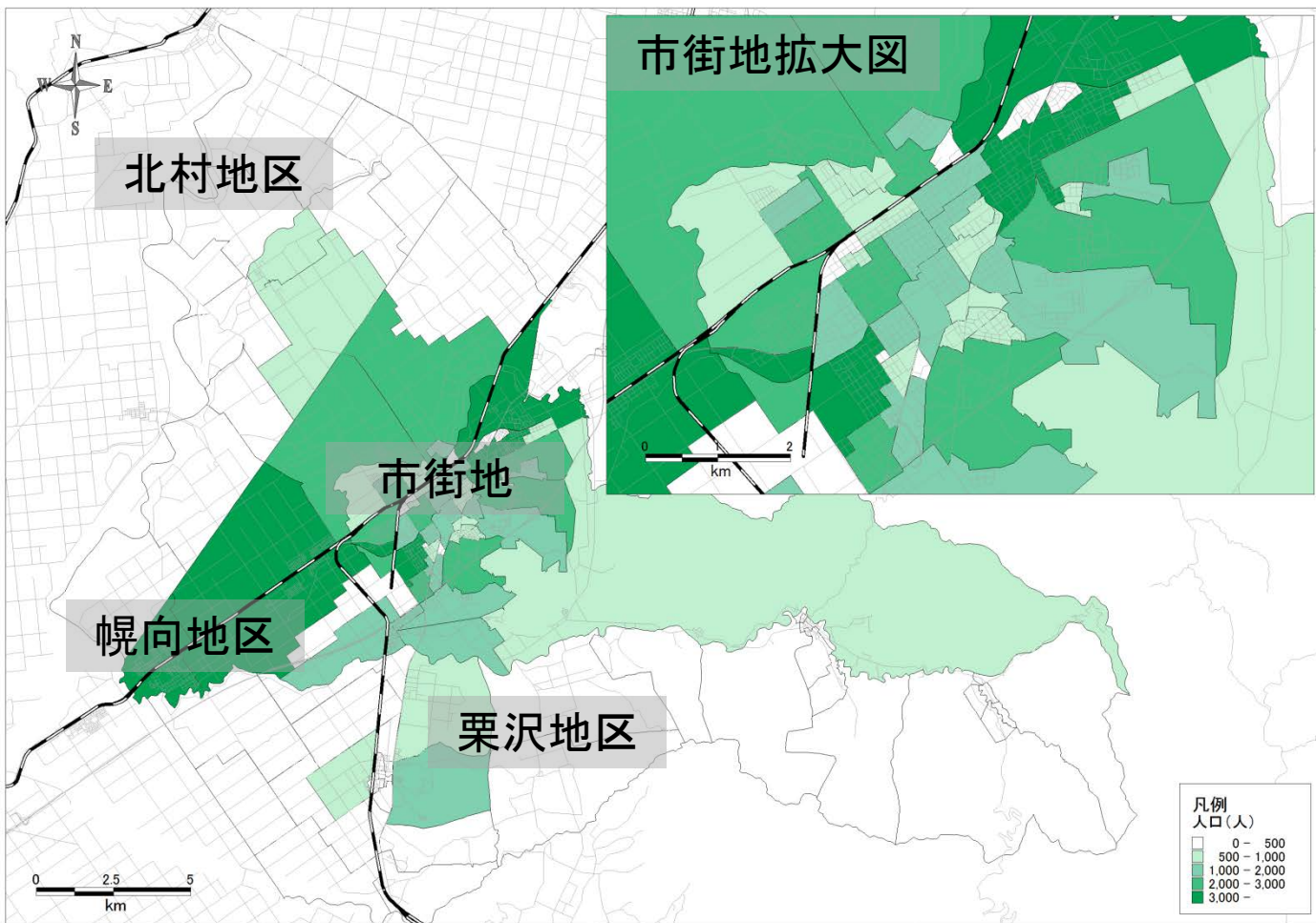


図 岩見沢市人口

資料：H22国勢調査

1-3 岩見沢市の人口分布

- ・岩見沢市の高齢者人口は、人口と同様に岩見沢全域に広く分布している。
- ・しかし、人口とは異なり、**幌向地区で最も多くなっている**。
- ・北村地区、栗沢地区では、支所が存在する地域で人口が多くなっている。

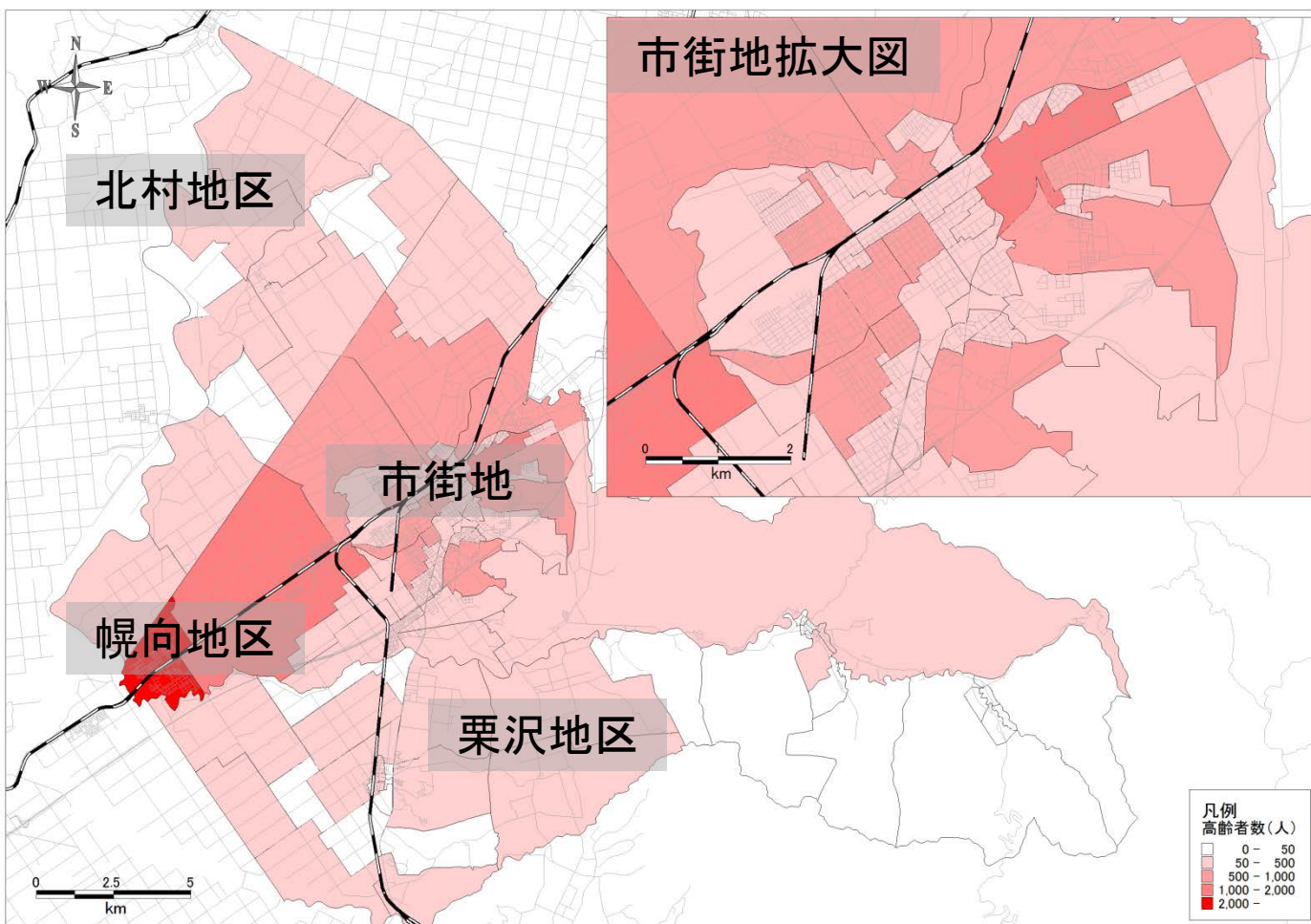


図 岩見沢市高齢者人口

資料：H22国勢調査

1-3 岩見沢市の人口分布

- ・ 岩見沢市の人口密度は、**市街地、及び幌向地区**で多くなっている。

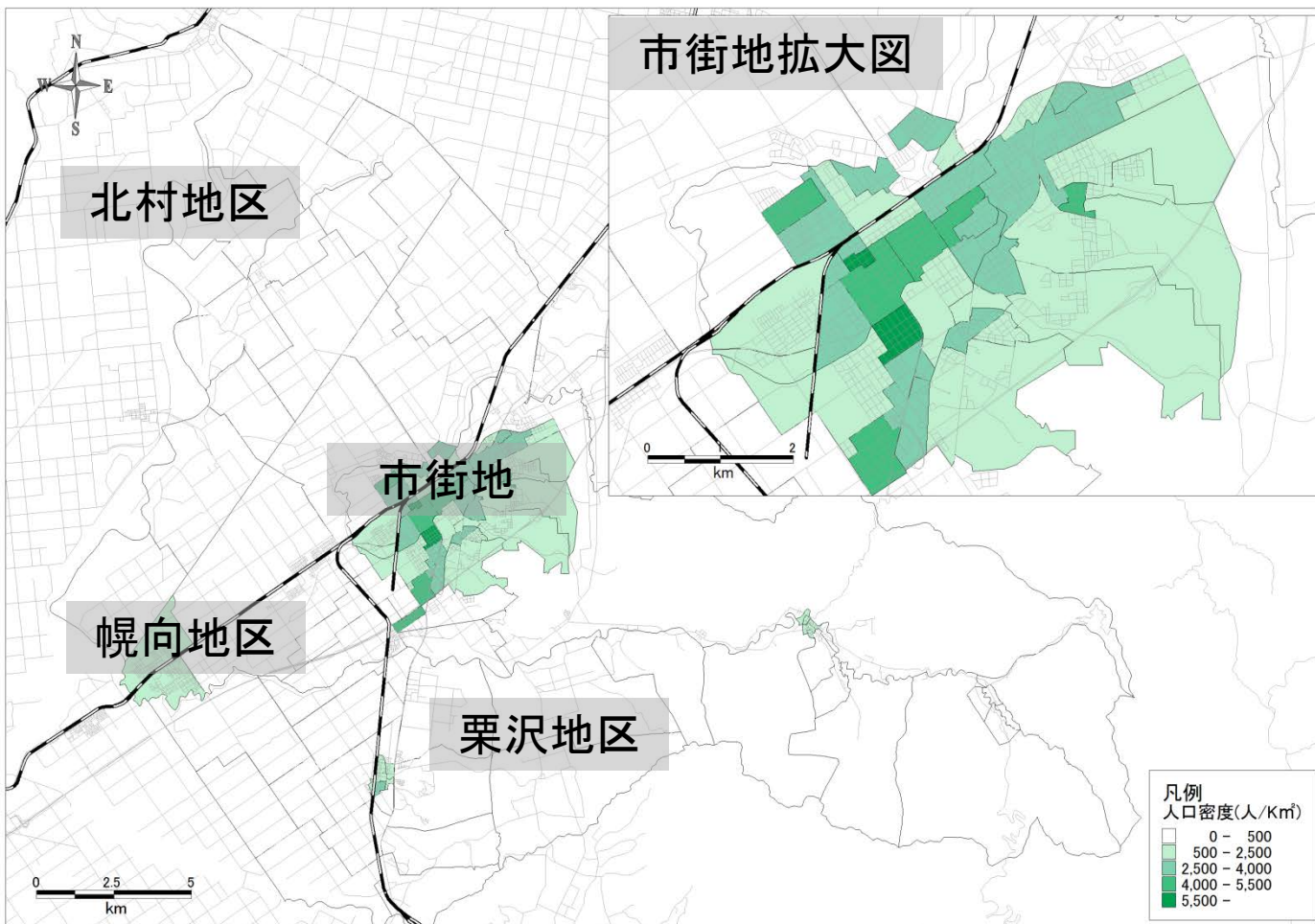


図 岩見沢市人口密度

資料：H22国勢調査

1-3 岩見沢市の人口分布

- ・ 岩見沢市の高齢者人口密度は、**市街地、及び幌向地区、栗沢地区**で多くなっている。

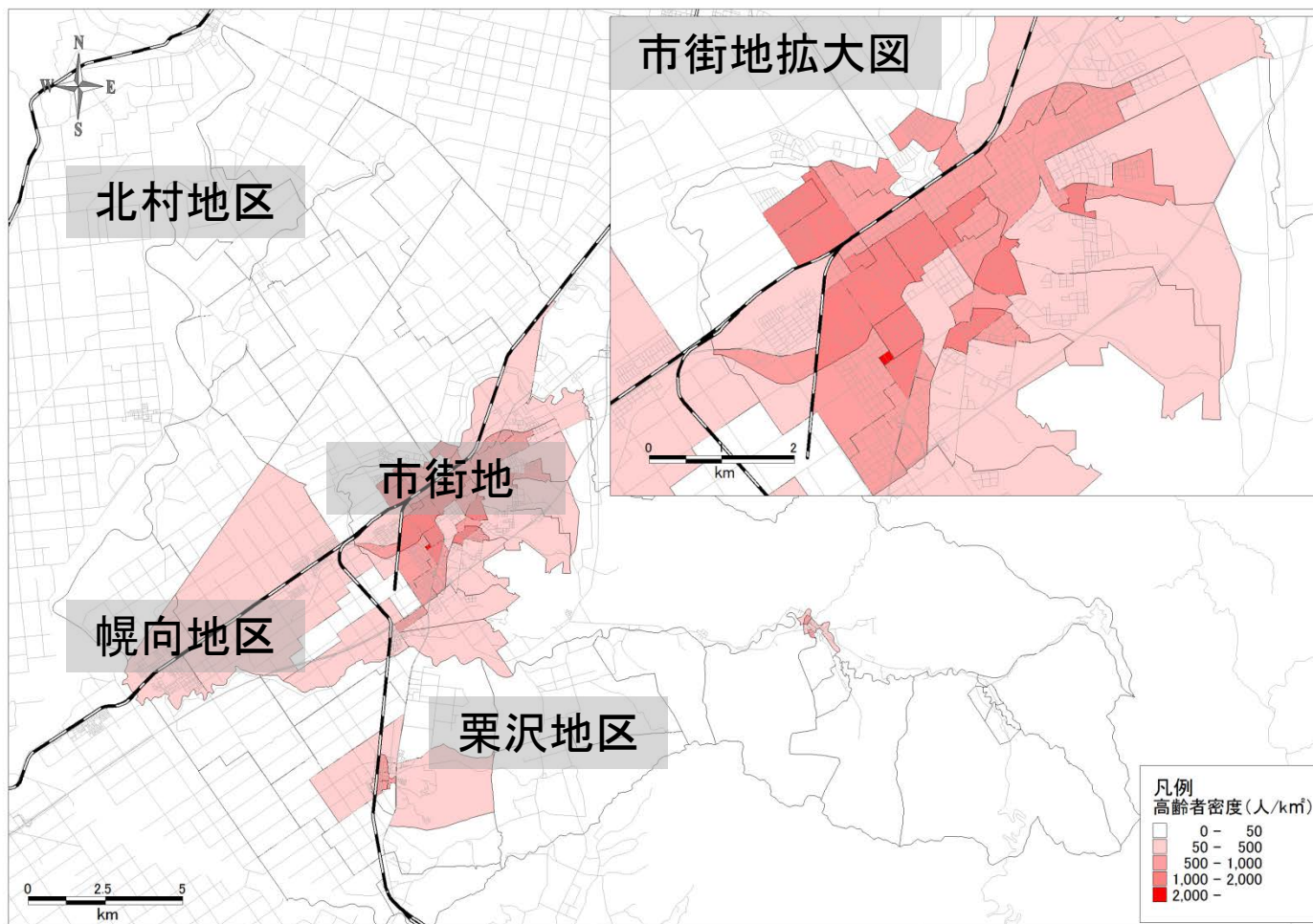
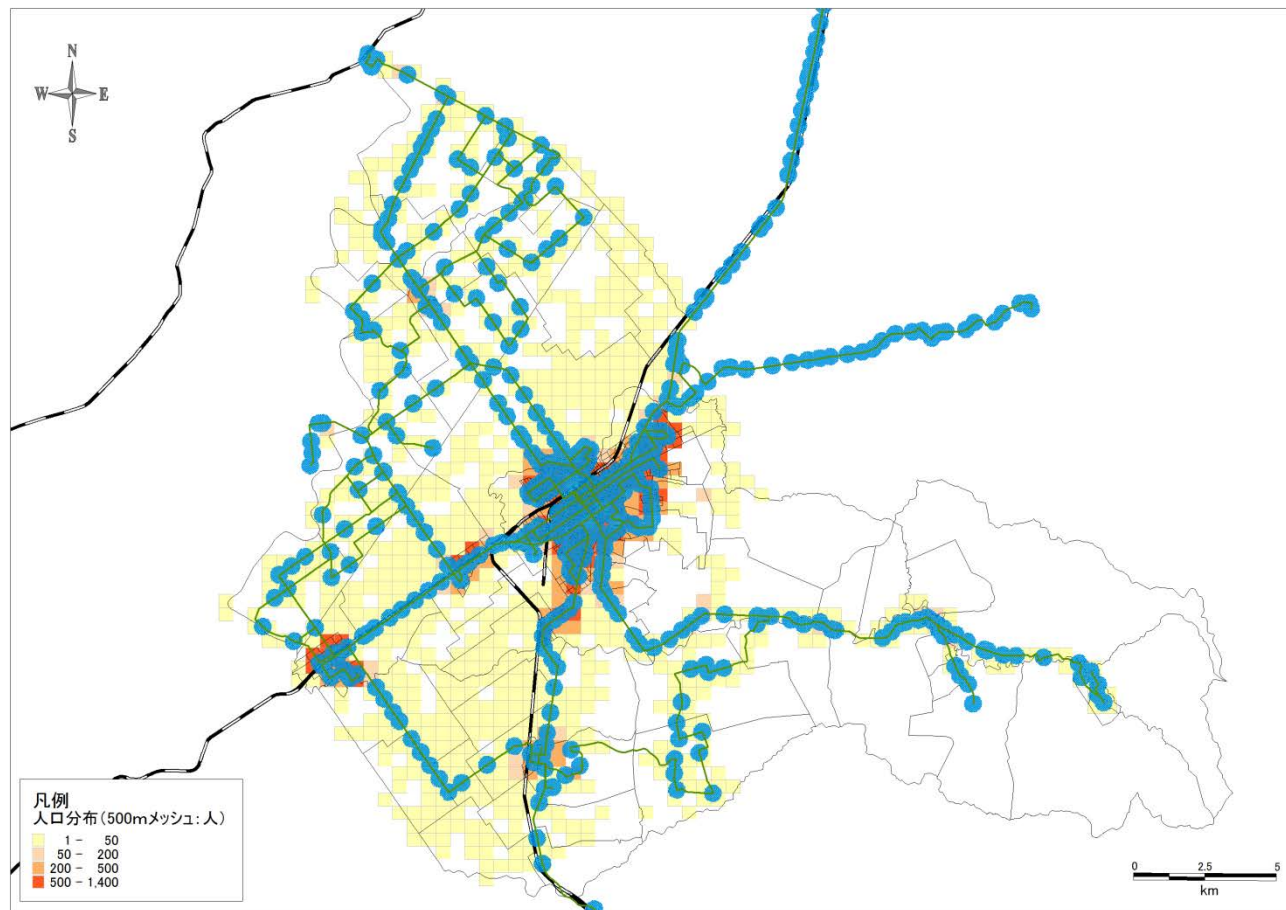


図 岩見沢市高齢者人口密度

資料：H22国勢調査

1-3 岩見沢市の人口分布

- ・ 岩見沢市内の公共交通網について、市街地の中心部においては形成されているが、**郊外部においてはバス停勢力圏外となっている**様子がうかがえる。



勢力圏人口：49,927人

バス停勢力圏とは

自宅からバス停までの距離を無理なく歩ける範囲(300m^{*1}を設定)

※一般的な人(歩行速度80m/分)の90%が抵抗を感じない時間を3.5分としており、これを距離に換算すると、「3.5(分)×80(m/分)=280(m)≒300(m)」となる。

出典：社団法人 土木学会
「バスサービスハンドブック」

図 岩見沢市バス停勢力圏

資料：H22国勢調査

2-1 岩見沢市のバス路線

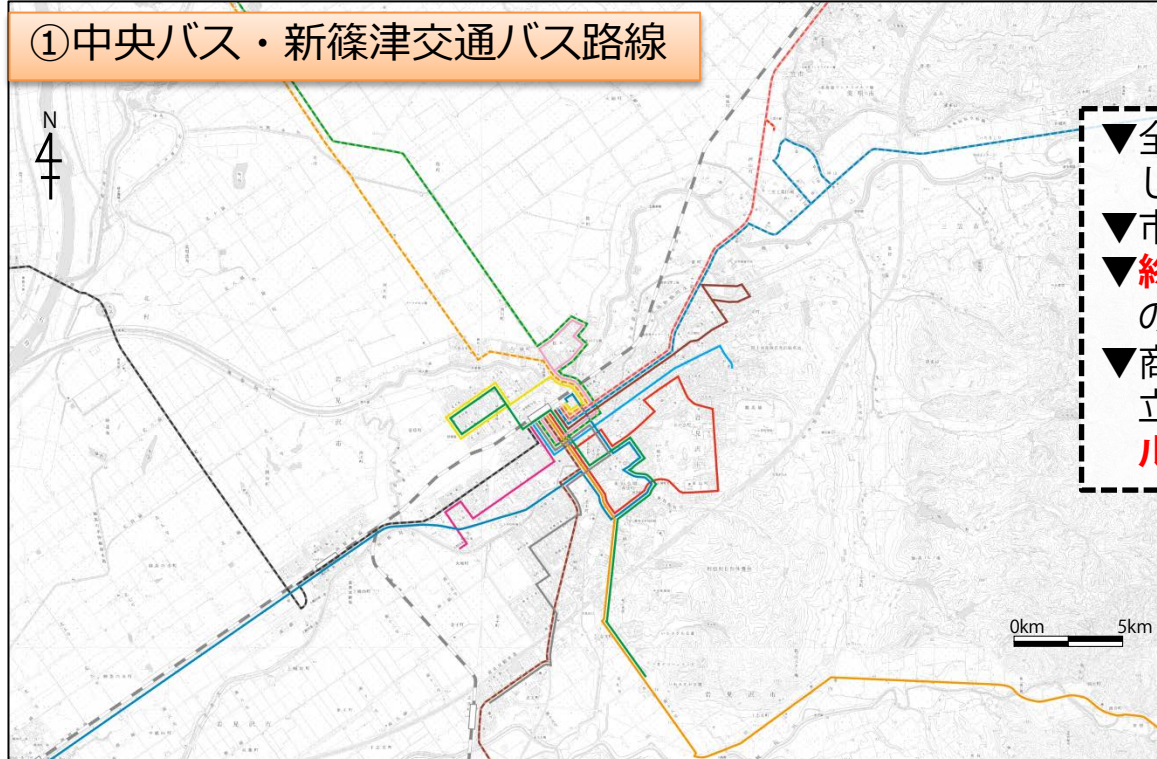
【岩見沢市を運行する路線バス】

運行主体	路線名等	特記事項
中央バス	①かえで団地線	市内線
	②日の出台	市内線
	③大和線	市内線
	④鉄北線	市内線
	⑤幌向線	市内線
	⑥緑が丘・鉄北循環線	市内線
	⑦月形線	都市間幹線 国庫補助路線
	⑧北村線	郊外線
	⑨桜木循環線	市内線
	⑩万字線	郊外線
	⑪三笠線	都市間幹線 国庫補助路線
	⑫栄町線	市内線
	⑬岩見沢美唄線	都市間幹線 国庫補助路線
	⑭栗山・長沼・三川・夕張線	都市間幹線 国庫補助路線
	⑮志文団地線	市内線

運行主体	路線名等	特記事項
新篠津交通	⑯北新線	都市間幹線 国庫補助路線
市営	⑰北斗線	郊外線、無料
	⑱万字線	郊外線、無料
	⑲北村地区住民バス	郊外線、無料

2-2 各路線の現状・課題

① 中央バス・新篠津交通バス路線



- ▼ 全ての路線が岩見沢ターミナルを起終点としている
- ▼ 市内線・郊外線は**全てが赤字路線**である
- ▼ **終発時間が早く**、通勤・通学時の交通手段の選択に影響を与えている
- ▼ 商業施設がまちなかではなく、郊外に多く立地していることから、『**岩見沢ターミナルで乗り換えが必要**』である

路線	事業者	路線名	運行区間	運行便数	路線長
	中央	かえで団地	岩見沢ターミナル-教大前-かえで団地 岩見沢ターミナル-10条東7-かえで団地	39 26 便/日	6.5 4.9 km
		日の出台	岩見沢ターミナル-6条通-日の出台	55 便/日	4.1 km
		大和	岩見沢ターミナル-7条通-イオン岩見沢店	19 便/日	4.4 km
		鉄北	岩見沢ターミナル-元町-北5条西20	36 便/日	5.6 km
		幌向	岩見沢ターミナル-上幌向駅-南4条つくし公園	19 便/日	18.2 km
		緑が丘・鉄北循環	北5条西20-岩見沢ターミナル-緑が丘(グリーンランド)	17 便/日	11.7 km
		月形	岩見沢ターミナル-北村支所-月形駅前	17 便/日	22.5 km
		北村	岩見沢ターミナル-元町-北村農協	7 便/日	12.3 km
		桜木循環	岩見沢ターミナル-桜木公園通-岩見沢ターミナル	3 便/日	4.6 km
		万字	岩見沢ターミナル-グリーンランド-毛陽町	15 便/日	19.9 km
		三笠	岩見沢ターミナル-三笠市民会館-幾春別	60 便/日	21.9 km
		栄町	岩見沢ターミナル-栄町-岩見沢ターミナル	60 便/日	10.1 km
		岩見沢美唄	岩見沢ターミナル-イオンスーパー-三笠店-美唄駅前	20 便/日	28.5 km
		栗山、長沼、三川、夕張	岩見沢ターミナル-栗山駅前-長沼ターミナル-三川駅前通-レースイリゾート	18/11/9/2 便/日	20.0/37.3/36.3/43.6 km
		志文団地	岩見沢ターミナル-南7条3-志文団地	29 便/日	7.6 km
		新篠津交通	北新線	岩見沢ターミナル-上幌向駅-新篠津温泉	20 便/日

2-2 各路線の現状・課題

②市営バス路線

栗沢地区

北村地区

- ▼1日当たり3～6便程度の便数があるものの、**買物のニーズが多い10時台の運行（※路線別カルテを参照）はない**
- ▼住居が広範囲に点在していることから、**路線長が長くなっている**
- ▼一部路線で**終発が早く、帰宅交通での利用で不便となっている**

路線	事業者	路線名	運行区間	運行費用(千円)	運行便数	運行距離
	市営	北斗	市役所栗沢支所-3号-幌向駅前	-6,825 (H25実績)	6 便/日	11.8 km
		万字	市役所栗沢支所-美流渡-万字バス待合所		6 便/日	45.3 km
		砂浜	市役所北村支所-鶴飼商店-幌向駅北口	-6,044 (H25実績)	6 便/日	39.3/35.4/33.5 km
		中央	市役所北村支所-北村神社・赤川6会館-市役所北村支所		3 便/日	23.1 km
		豊正	市役所北村支所-豊正公民館-市役所北村支所		3 便/日	19.1 km
		東	市役所北村支所-学習館「ばる」前・開拓橋-市役所北村支所		3 便/日	30.9 km
		東豊	市役所北村支所-開栄橋・開拓橋-市役所北村支所		3 便/日	27.3 km
		幌達布	市役所北村支所-旧協栄会館・赤川6会館-市役所北村支所		6 便/日	31.9/39.5 km

2-3 岩見沢市のバス交通に係る市負担額及び利用者の推移

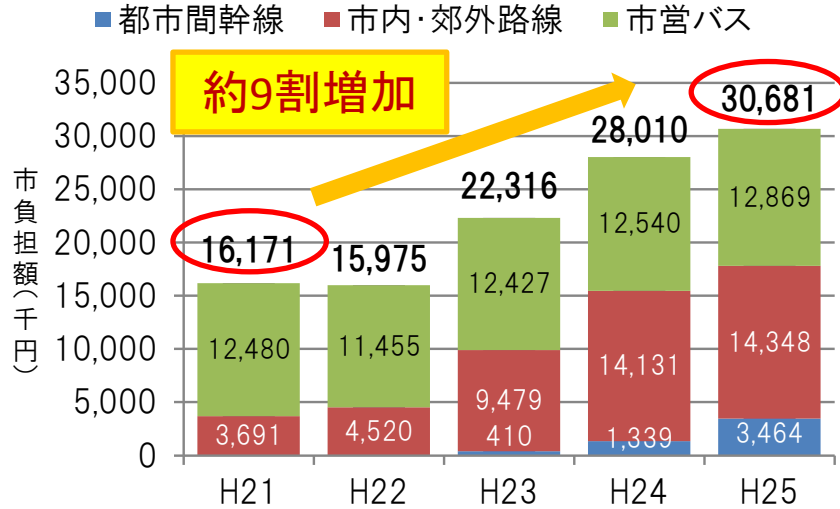
- 岩見沢市のバス交通維持に係る市負担額は年々増加しており、平成21年から平成25年で約9割増加している。

(平成21年：16,171千円 ⇒ 平成25年：30,681千円)

- 岩見沢市内を運行する路線バス（中央バス）の利用者数は、年々減少しており、平成17年から平成25年で約4割減少している。

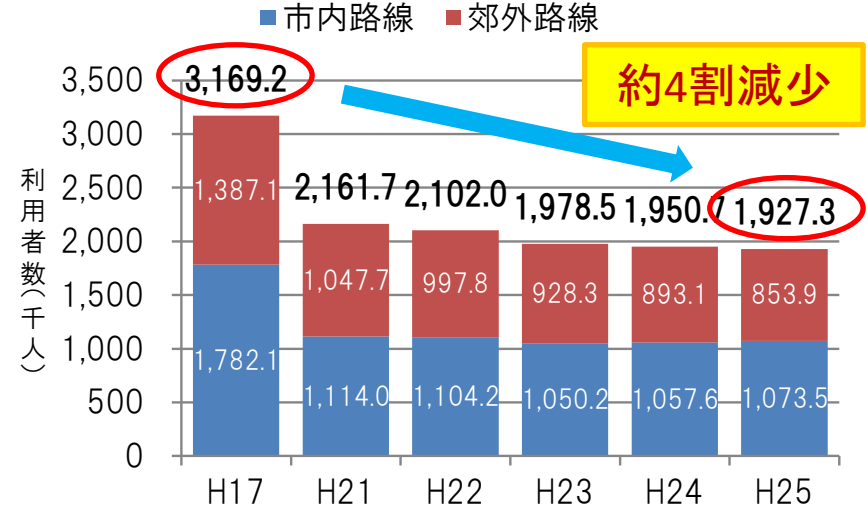
(平成17年：3,169.2千人 ⇒ 平成25年：1,927.3千人)

岩見沢市内を運行する路線バスに対する補助金等の市負担推移



資料：岩見沢市提供資料

岩見沢市内を運行する路線バスの利用者数推移



※平成18年度に中央バス路線の再編を実施

資料：岩見沢市提供資料